

蓄積情報から利用状況を見える化

レポートングオプションは、Hinemosで蓄積しているシステム稼働情報やジョブ制御情報を稼働状況レポートとして出力することで、蓄積情報から利用状況を見える化するための有償オプションです。

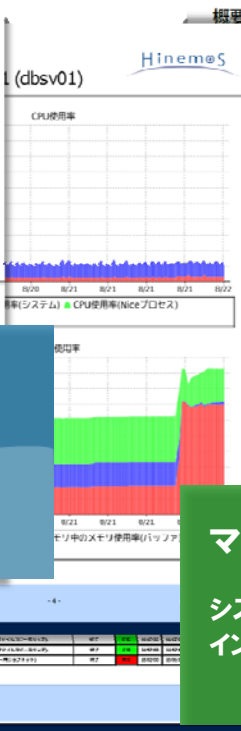
Hinemosに蓄積した情報をわかりやすく整理したレポートが、手間なく定期的に届けられることで、システム利用状況の分析や潜在的なリスクの発見が容易に行えるようになり、スムーズな意思決定とICTインフラの効率的な運用を実現できます。

各種テンプレートで状況把握を容易に

さまざまな蓄積情報に最適化したレポートテンプレートを組み合わせることで、目的に適したレポートを作成できます。

システムX 運用レポート

2014年8月22日



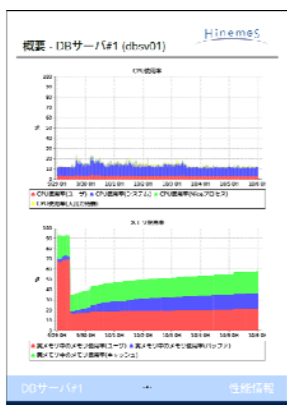
定期的なレポート作成・配信

オンデマンドでレポートを作成するだけでなく、レポート作成を定期スケジュールとして登録できます。また、作成したレポートをメールで自動的に送付できます。

マルチテナント・マルチユーザに対応

システム単位やシステム内のグループ単位などのICTインフラの管理範囲に応じたレポートを作成できます。

各種テンプレートで状況把握を容易に



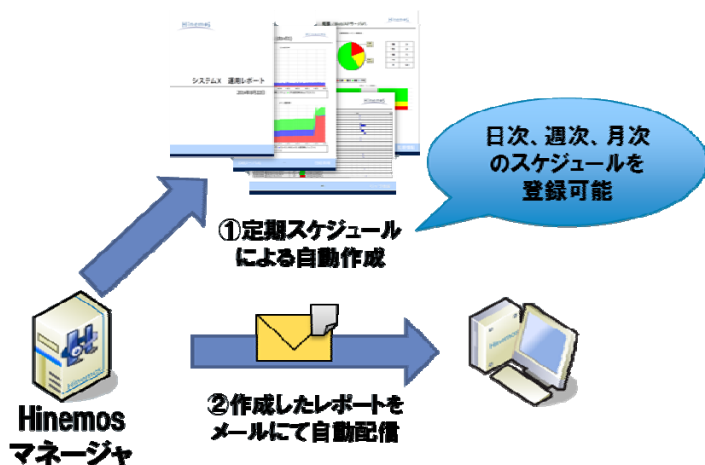
Hinemosで蓄積している各種情報を効果的に把握するためのレポートテンプレートを用意しています。テンプレートを組み合わせることで、蓄積した情報に手を加えることなく、目的に適したレポートを簡単に作成できます。

レポートテンプレート一覧 (2014年10月時点)

性能情報	ノード概要	各性能情報カテゴリのうち、代表的なグラフを表示
	ノード詳細	全ての性能情報のグラフを表示
監視情報	ノード概要	イベントの重要度比率や日別件数をグラフで表示
	ノード詳細	イベントの内容をリストで表示
ジョブ情報	セッション	ジョブの起点単位の実行状態をリストで表示
	ジョブ詳細	ジョブ毎の実行状態をガントチャートで表示
	ノード詳細	ノード毎のジョブの実行状態をガントチャートで表示



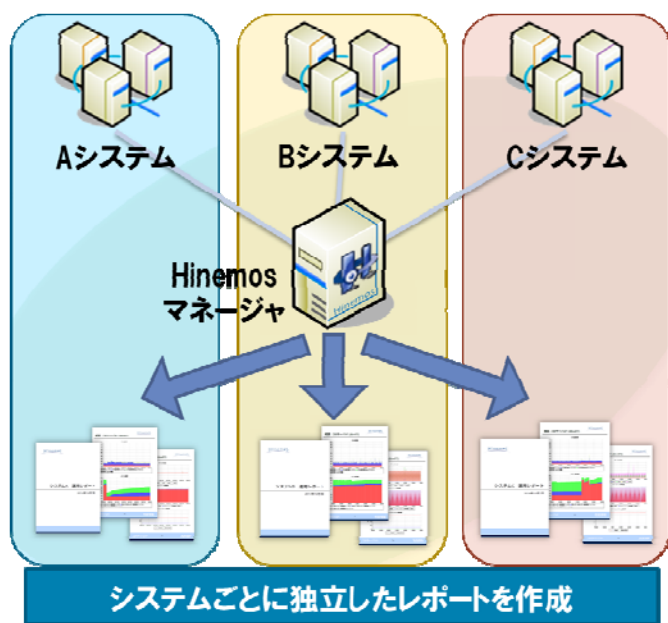
定期的なレポート作成・配信



レポート作成を定期的に行うスケジュールとして登録できます。これにより、日次や週次など決まった期間のレポートを自動で作成できます。また、Hinemosのメール通知と連携し、あらかじめ送付先のメールアドレスを設定しておくことで、作成したレポートを添付し、メールで自動的に送付できます。

レポートを作成するための運用者による操作がなくなり、さらにメールによるレポート配信と組み合わせることで報告業務も自動化されるため、運用業務を効率化できます。

マルチテナント・マルチユーザに対応



レポート作成時に参照する蓄積情報の範囲を、システム単位やシステム内のグループ単位で制御できます。

同一Hinemos上で複数のシステムを管理している場合、ICTインフラの管理範囲に応じた個別レポートを作成できるため、システム間の独立性やセキュリティを確保できます。

動作環境

レポート作成オプション ver1.0は Hinemos ver4.1に対応しています。
メールによるレポート配信、マルチユーザ対応は、Hinemos ver4.1.2以降に対応しています。

株式会社 NTTデータ
基盤システム事業本部

TEL: 050-5546-2496
E-mail: osdquery@nttdata.co.jp
Hinemosポータルサイト <http://www.hinemos.info/>

Hinemos®は、(株)NTTデータの登録商標です。
その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。